

2009年12月1日

(第26号) 秋冬号

# 獨協医科大学病院だより

— Dokkyo Medical University Hospital News —



日本医療機能評価機構 日本医療機能評価機構認定病院

平成21年(2009年)

12月



第26号

## 身近な病気 Q&amp;A



## 食道がんの診断と治療について



獨協医科大学 第一外科 教授 加藤広行

食道は、のどの少し下から胃にいたる管状、いわゆるパイプ状の臓器で、食物を胃に送る働きをしています。食道がんは食道から発生した悪性腫瘍で、わが国では毎年11,000人以上の方が食道がんで亡くなっています。これは胃がんの約1/5の頻度で、男性では6番目に多い発生率で、女性に比べて約5～8倍男性に多くかかります。発症年齢は50歳代より加齢とともに急激に増加し、ピークは60歳代です。年次推移では、男性は横ばい状態、女性は低下傾向にあります。



## 食道がんの原因は何か？

食道がんにかかる直接の原因ははっきりとは判っていませんが、お酒、たばこ、熱い飲食物の嗜好などが食道がんの発生と密接に関連することが分かっています。特にお酒とたばこの両者をたしなむ方に多くみられます。しかし、お酒やたばこを嗜好されない方でも食道がんにかかる方はいます。

食道がんにかかる方は咽頭や喉頭などにもがんができやすく、また咽頭や喉頭などのがんにかかられた方は食道がんができやすいこともわかっています。



## 食道がんの症状は何か？

食道がんの症状として最も多いのは、食道の内側が狭くなり食事がつかえて飲み込みにくい症状です。比較的早期は症状がほとんどありませんが、物を飲み込んだときの違和感や嚥下時の痛み、さらに酸っぱい物や辛い物を食べるとしみるなどの症状がみられることがあります。がんが増大すると食道の内側が狭くなり、飲み込みにくい症状が出現し、肉などの固形物がつかえるようになります。そして徐々に体重減少がみられ、唾液も飲み込めない状態になります。

## Q 食道がんの診断は何が必要か？

通常はバリウムによる食道造影検査と胃カメラによる内視鏡検査で診断します。がんが小さいとレントゲン検査では発見できないことがあります。このような小さながんを見つけるためには内視鏡検査が必要です。治療法の決定には、さらにリンパ節、肝臓、肺への転移や、周辺臓器との関係などを調べます。食道がんの拡がりかどの程度あるかを調べるのが重要であり、そのためにはCT検査やポジトロン(PET)検査なども行います。

## Q 食道がんの治療は何が良いか？

食道がんの治療には、内視鏡治療、手術治療、放射線治療と抗がん剤治療の4つが代表的です。いずれの治療法も長所と短所があり、どの治療法を選択するかはがんの拡がりの程度や病状によって決定します。

最近では初期の食道がんが徐々に多くなり、手術せずに内視鏡で取り除くことが増えてきました。早期発見することが治療する確立を高め、患者さんの負担が軽減されますので、がん検診が大変重要となります。進行した場合には、「この治療を行えば、必ずがんが消えてなくなる」というような治療はまだ開発されていません。このため、手術治療、放射線治療、抗がん剤治療を組み合わせた治療(集学的治療)を行うことも少なくありません。



**部門紹介 今月号よりシリーズで当院の各部門をご紹介します**

**医療相談部**

**医療相談部の業務内容**

医療相談部の業務内容は大きく医療ソーシャルワークと看護業務の2つに分けられます。医療ソーシャルワークの業務内容は、病気や怪我が原因で経済的・社会的・心理的問題が生じ、それを抱えた患者様やその家族に社会福祉の観点から問題を解決できるよう援助することであり、医療ソーシャルワーカー(MSW)が担当しています。

看護業務の内容には、訪問看護(退院間近や通院中の患者様や家族に対して、在宅療養を支援するため看護師が患者宅を訪問して看護を行う)、継続看護(訪問看護ステーションや健康福祉センター、市町村の保健師に家庭訪問等を依頼して看護を継続する)、と看護相談(外来・入院患者やその家族の看護上の問題に対して相談を行う)があり、看護師が担当しています。医療相談部発足以来、病棟・外来・地域の三者の連携システムを作り、在宅療養者の支援をするため訪問看護・継続看護の充実を勧めています。

また栃木県の神経難病医療ネットワーク推進事業の拠点病院として難病相談を行っております。医療法施行規則により医療安全管理体制の面から患者様相談窓口としても対応しています。



こんな時にご活用下さい

**医療ソーシャルワーカーへの相談内容**

- \* 医療費や経済的問題で悩んでいるとき
- \* 退院や社会復帰について心配があるとき
- \* 患者会、家族会等の活動を知りたいとき
- \* 受診や療養について相談したいことがあるとき
- \* ご意見・要望があるとき

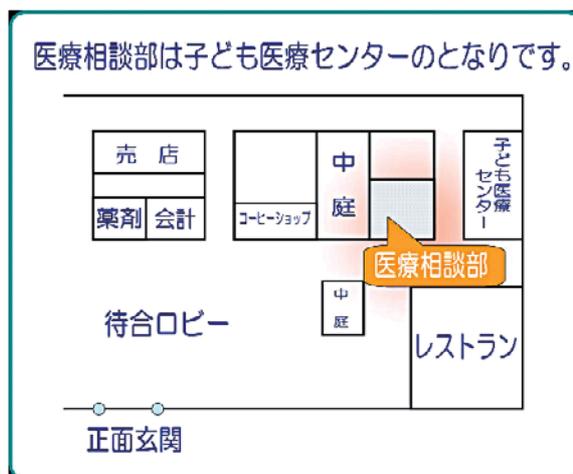
**訪問看護師への相談内容**

- \* 在宅での療養に不安があるとき
- \* 医療器具を装着したまま退院になるため在宅での管理指導を受けたいとき
- \* 在宅療養者の日常生活の援助が家族だけでは困難であり援助して欲しいとき
- \* 健康問題について相談をしたいとき
- \* 病院からあるいは訪問看護ステーション・行政の保健師から訪問看護や指導を受けたいとき

その他の内容についても出来るかぎり相談に応じますのでお気軽にご相談ください。

**業務時間**

- ・月～金 9:00～17:00
- ・土 9:00～14:00 (第3土曜日休)



## ◆インフルエンザについて◆

### 感染防止対策課

新型インフルエンザの感染が拡大しておりますが、みなさまが出来る感染予防の方法についてご紹介いたします。

### インフルエンザと「かぜ(普通感冒)」の違い

インフルエンザと“かぜ”(普通感冒)とは、原因となるウイルスの種類が異なり、通常の“かぜ”(普通感冒)はのどや鼻に症状が現れるのに対し、インフルエンザは急に38~40度の高熱がでるのが特徴です。

さらに、倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状も強く、これらの激しい症状は通常5日間ほど続きます。また、気管支炎や肺炎を併発した場合、重症化すると脳炎や心不全を起こすこともあり、体力のない高齢者や乳幼児などは命にかかわることもあります。

#### インフルエンザと「かぜ(普通感冒)」の違い

|             | インフルエンザ                    | かぜ          |
|-------------|----------------------------|-------------|
| 初期症状        | 発熱、悪寒、頭痛                   | 鼻咽頭の乾燥、くしゃみ |
| 主な症状        | 発熱、筋痛、関節痛                  | 鼻水、鼻づまり     |
| 悪寒(寒気)      | 強い                         | 軽度、きわめて短気   |
| 発熱(期間)      | 38~40℃(3日~4日)              | なし、もしくは微熱   |
| 全身痛、筋肉痛、関節痛 | 強い                         | なし          |
| 倦怠感(だるさ)    | 強い                         | ほとんどない      |
| 鼻水、鼻づまり     | 後期より著しい                    | 初期より著しい     |
| 合併症         | 気管支炎、インフルエンザ肺炎<br>細菌性脳炎、脳症 | まれ          |

### 日常生活でできる予防方法

日常生活ではまず、体調を整えて抵抗力をつけ、ウイルスに接触しないことが大切です。万が一、感染してしまったら、他の方にうつさないように気をつけましょう。

#### ①栄養と休養を十分取る

体力をつけて抵抗力を高めることで感染しにくくなります。

#### ②マスクを着用し、人ごみを避ける

ウイルスは咳やくしゃみの飛沫から感染します。外出する場合は感染予防のためマスクを着用しましょう。また人ごみは避け、病原体であるウイルスを寄せつけないようにしましょう。

#### ③外出後の手の衛生

手洗いや手指の消毒によって、感染を防ぎます。

市販のアルコール消毒液などが有効です。

もしインフルエンザになってしまったら・・・  
まずはかかりつけの医療機関にご相談ください。



# 病院への手紙

## 病院へのお手紙に関するご回答

当院では、「病院への手紙」をご来院される皆様から募集しております。ご意見箱に寄せられるご意見・ご要望に対するご回答をご紹介します。

### 職員の接遇について

53歳男性・30歳女性 他多数

- ・外来に受診した際に窓口職員の対応が悪く、不愉快な思いをした。
- ・外来診療科職員の接遇が悪い。接遇について再教育したほうがいい。

#### \* 当院からの回答 \*

- ・職員の接遇に関するご意見は多数頂いております。当院では、皆様から頂いたご意見を踏まえ、職員に対して接遇・マナー研修を開催し、改善に努めております。今後とも接遇改善に努めて参ります。

### 病院の施設環境について

31歳男性・42歳女性 他

- ・病院内に図書館があると良いと思います。病気について自分で調べたり、資料を頂けると病気についての理解が深まります。
- ・病院内にインターネットが使える環境があると助かります。

#### \* 当院からの回答 \*

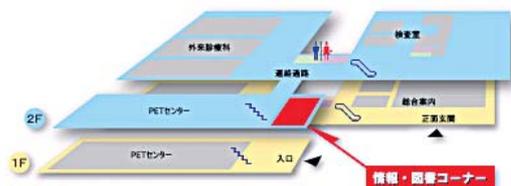
- ・当院では、2階フロアのPETセンター入口に患者様向けの「情報・図書コーナー」を設置しております。

情報コーナーでは、医療に関する情報や各種疾患別のパンフレットやリーフレット（約400種類）が、常時閲覧可能となっており、自由にお持ち帰りいただけますので、是非ご利用下さい。

また、図書コーナーでは図書閲覧・インターネット利用が可能となっております。ご活用ください。

#### 施設案内

情報・図書コーナーは、PETセンター2階にあります。情報コーナーは常時、図書コーナーは月・水・木・金曜日午前11時～午後2時の間にご利用いただけます。



**情報コーナー**  
常時利用可  
パンフレット・リーフレット閲覧  
持ち帰り自由

#### 図書コーナー

月・水・木・金/11:00~14:00  
図書閲覧  
インターネット利用可



### ◆ 医療情報/各種疾患別 パンフレット・リーフレット 約400種類 ◆

医療に関する様々な情報のパンフレットやリーフレットが、常時閲覧可能となっており、自由にお持ち帰りいただけます。

# 年末年始 一般外来休診のお知らせ

## 12月29日(火)➡1月3日(日)

年末年始期間中につき、通常の外来は休診となります。

なお、救急の場合は、時間外救急部にて診療を行います。

※インフルエンザが疑われる方はインフルエンザ外来にご案内します。

年末年始期間中に受診を希望される方は下記までお電話下さい。

**時間外救急部** :0282-87-2199

**インフルエンザ外来** :0282-87-2096

※インフルエンザ外来:発熱、悪寒、鼻汁、鼻づまり、のどの痛み、咳などインフルエンザが疑われる症状の方

当院では、2次救急・3次救急を担当しており、年末年始期間中は大変混雑が予想されます。待ち時間等でご迷惑をおかけする場合がございますが、当院職員一同努力しておりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

「獨協医科大学病院だより」では、皆様からのご意見をお待ちしております。

— 読者アンケートご協力をお願い —

皆様のご意見をもとに、今後ますます誌面の充実に努めて参ります。アンケートは以下の場所に設置しておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

獨協医科大学病院 病院広報誌委員会

— アンケート用紙設置・回収場所のご案内 —



本館1階 自動会計機 横 掲示板



# ご存知ですか？



当院では専門看護師や認定看護師が活躍しています

今回の専門・認定看護師紹介は、**専門看護師**と**今年度認定看護師**に認定された仲間を紹介いたします。専門看護師は県内にまだ2名しか認定されていません。そのうちの1人、**がん看護専門看護師**が当院では活躍しております。



## こんにちは。がん看護専門看護師の岸田さな江です。



がんの罹患率が上昇する中での専門看護師の役割は、予防から始まり時期を問わず、皆様により質の高い看護を提供できるように、看護職はもとより医師、薬剤師など様々な職種と協働して、予防行動、意思決定のお手伝いや症状緩和、治療を円滑がすすむように支援させていただいております。現在、腫瘍センター緩和ケア部門、がん相談とがん患者さん、ご家族の支援を中心に勤務をしております。がんになってもその人らしく、希望を支援させていただきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。がん相談、緩和ケア等のご質問は、腫瘍センターにお問い合わせください。お待ちしております。



## 今年もこんなに多くの認定看護師が誕生いたしました。

|                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 皮膚・排泄ケア認定看護師<br>柿沼貴子 | 緩和ケア認定看護師<br>渡辺佳世子 |
| 乳がん看護認定看護師<br>町田恵理子  |                    |
| 感染管理認定看護師<br>泉澤清子    |                    |
| 新生児集中ケア認定看護師<br>小鷲明美 | 化学療法認定看護<br>上野恵美   |



佐山看護部長と今年認定された6名の看護師です。

看護の技を磨き皆で協力しながら質の高い看護を提供していきますのでよろしく願いいたします!!

現在1名の専門看護師と11分野15名の認定看護師が活躍しております。



\* 認定看護師は、日本看護協会が認可した研修期間で一定の研修後、認定試験に合格した看護師です。

### 編集後記

獨協医科大学病院だより第26号をお届けします。表紙の写真は獨協医科大学構内のイチョウ並木の写真です。毎年、秋になると多くの方がカメラを片手に写真撮影にご来院方されます。地元では、ちょっとした観光スポットになっており、新聞記事やニュースでテレビ放送もされています。構内500メートルにわたって約200本のイチョウが皆様をお待ちしています。これからも、毎年獨協のイチョウを皆様に楽しんでいただければと思います。

### 獨協医科大学病院だより第26号

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地

TEL 0282-86-1111 (代表) FAX 0282-86-4775

当広報誌は当院ホームページよりご覧いただけます。

獨協医大病院 検索

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>

発行年月日 / 平成21年12月 1日

編集・発行 / 獨協医科大学病院広報誌委員会

印刷 / (株)松井ピ・テ・オ・印刷